

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-025

PDCA	事務事業名	中心市街地活性化支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	赤坂	
					内線等	322	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ③中心市街地の商業の魅力創出					
	根拠法令等	半田市中心市街地まちづくり支援事業補助金交付要綱、半田市中心市街地商業活性化にぎ					
	対象・目的	まちづくりコーディネート機能を担う商工会議所のまちづくり推進事業と、商工会議所と中心市街地の3商店街及びクラシティが一体となり実施する賑わい創出事業に補助金を支出し、魅力ある市街地の形成と賑わいのあるまちづくりを目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	まちづくり推進室事業費や、商業者による販売促進イベント、賑わい創出イベント等の実施に係る費用について補助金を支出し、中心市街地の活性化を支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①チャレンジショップ出店数	-	1	1	件	
		②賑わい事業のイベント開催回数	4	4	3	回	
		③賑わい事業のチラシやマップ等の作成	4	4	3	回	
		事業費	8,057	3,539	3,144	千円	
		人件費	4,685	4,658	4,629	千円	
		総事業費	12,742	8,197	7,773	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①歩行者・自転車通行量	実績値	6,858	7,128	5,289	件
			目標値	7,300	7,300	7,300	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		C					
		商工会議所まちづくり推進室と連携を図りながら、若手創業者の育成を目的としたチャレンジショップ事業の実施や商店街等が実施する地域賑わいイベントの後方支援を行った。また、日常的に商店街に慣れ親しんでもらうファンづくりのため、Googleインドアビューに商店街店舗内を48店舗掲載してPRし、来店につなげた。中心市街地の3商店街とクラシティはコロナ禍でイベントの在り方を見直し、感染症対策を講じた密にならない商店街の楽しみ方を提供する季節行事を開催し、遠出できない多くの地域住民の楽しみと、中心市街地の消費喚起につながった。成果指標である通行量調査は、新型コロナの第3波の時期と重なり、地元住民の往来も少なかったが、観光客が減ったことが大きな要因と考えられ、大きく減少する結果となった。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
	令和3年度の目標	知多半田駅からJR半田駅間の区域を中心に、若手創業者の育成と半田商工会議所や中心市街地の3商店街及びクラシティと連携を図りながら中心市街地の魅力を認識していただく取り組みを実施するとともに、コロナ禍におけるまちづくりを模索していく必要がある。					
		成果指標			目標値	単位	
		①歩行者・自転車通行量			7,300	人/日	